

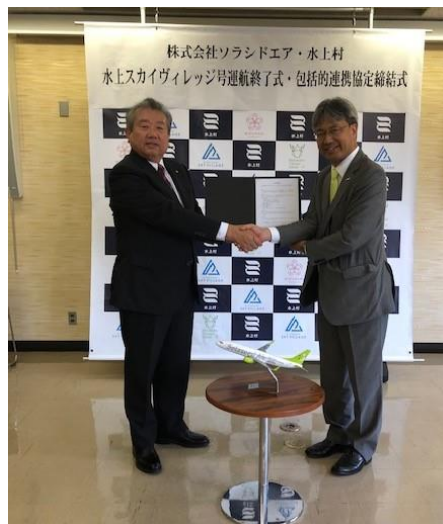


地域振興 機体活用プロジェクト『空恋』“水上スカイヴィレッジ号” ソラシドエアと熊本県水上村が包括的連携協定を締結！

株式会社ソラシドエア(本社:宮崎県宮崎市 代表取締役社長:高橋 宏輔)は、2019年9月18日(水)、熊本県水上村と地域社会発展に寄与することを目的とした包括的連携協定を締結しました。

熊本県水上村は、ソラシドエアの地域振興 機体活用プロジェクト『空恋～空で街と恋をする～』の21番目のパートナーとして、2018年8月から約1年間“水上スカイヴィレッジ号”を運航しました。

熊本県水上村は、熊本県南部の人吉球磨地域で球磨川(くまがわ)の最上流部に位置します。機体に描かれた『本物の空気がある』のキャッチフレーズの通り、きれいな水と澄んだ空気が自慢です。霊峰・市房山の懐に抱かれる水上村は人口約2千人の小さな村ながら、桜の名所として知られ、山河の豊かな恵みと人の温かさに溢れた山里です。また、熊本県で唯一の『森林セラピー基地』に認定された空気の新鮮さも自慢。この環境の中でトレーニングできる標高約1,000mの山上にクロスカントリー施設『水上スカイヴィレッジ』が誕生しました。高低差の激しい全長2kmのコースに全天候型トラックやアイシングプールを備え、麓の湯山温泉郷を拠点に長期合宿も可能とあって、全国のアスリートから注目されています。



ソラシドエアと水上村は、空恋プロジェクトを通し、水上村の魅力をご搭乗のお客様をはじめ、全国のみなさまへPRすると共に交流を深めてまいりました。

この度、“水上スカイヴィレッジ号”が約1年間のフライトを終えたことを契機に、包括連携協定を締結する運びとなりました。ソラシドエアと熊本県水上村は、今後も一層連携を強め、観光や地域産業、地域文化の振興、地域発展の寄与を目的として、エアラインと自治体が相互連携した様々な取り組みを行ってまいります。



<これまでの共同取組み内容>

1. 水上村のキャッチフレーズ『本物の空気がある』が描かれ機体のラッピング
2. オリジナルエプロンを着用した客室乗務員による機内サービスの実施
3. 情報誌「水上村」の機内シートポケット設置
4. グリーンスカイフェスタ参加による観光 PR・物産品販売
5. 熊本空港 水上村ふるさと塾 空港見学を実施



<機体ラッピング デザイン>



ソラシドエアは、本社を宮崎県宮崎市に構え「九州・沖縄の翼」として、羽田・沖縄と九州を結ぶ路線を中心に展開しています。ボーイング737-800型機13機を保有し、リーズナブルな運賃で毎日11路線74便を運航しています。

ブランドコンセプト“空から笑顔の種をまく。”の下、お客様のニーズに合わせたソラシドエアらしいおもてなしで、“笑顔ひろがる心地よい”サービスを追求しています。また、地域振興を目的とした地域と人を繋ぐ“つながりは無限大『九州・沖縄プロモーター』”プロジェクトなどに取り組んでいます。

ソラシドエア ホームページ: www.solaseedair.jp/